



photo: Ryota Atarashi

目黒区総合庁舎（1966年竣工／旧千代田生命本社ビル）は、建築家・村野藤吾が情熱を傾けたオフィスビルの傑作です。専門家のガイドでめぐる本ツアーは、目黒区美術館が2004年に開催した村野建築に関する最初の展覧会「村野藤吾のディテール〈旧千代田生命本社ビル 写真/図面〉」で初めて実施して以来、毎年多くの方々にご参加いただけてきました。今年の開催は4日間。事前のお申し込みが必要です。また、2015年に発足した村野建築に関わる施設等との連携「村野藤吾建築ネットワーク」も好評で、今年は各地でも催事の開催が予定されています。皆様のご参加をお待ちしております。※今回は、新型コロナウイルス感染症対策で行政利用している「和室」「茶室」など一部の施設は見学コースに含まれません。

開催日時

2023年4月30日(日)／5月12日(金)／5月20日(土)／5月28日(日)

※各日14:00～15:30

目黒区総合庁舎の所在地

東京都目黒区上目黒 2-19-15

アクセス：東急東横線・東京メトロ比谷線「中目黒」駅 徒歩5分

解説：目黒区美術館 建築ガイドスタッフ（目黒区美術館ボランティア会）

参加費：600円（保険、資料代を含みます）

定員：各日20名 事前申込制（申込期間あり／応募者多数の場合は抽選です）

対象：中学生以上

内容：複数のグループに分け、1グループにつきガイドスタッフ1名がご案内します。各グループで、ガイドの解説をイヤホンを通して聞ける「ワイヤレスガイドシステム」を使用する予定です。

申し込み方法

Webサイトから：目黒区美術館ウェブサイトの申込専用フォームで

FAXで：03-3715-9328（①～⑥を必ず明記）

ハガキで：〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36 目黒区美術館 建築ガイドツアー担当宛て
（①～⑥を必ず明記）

申し込みに必要な情報

①講座名 ②希望日 ③氏名 ④電話番号 ⑤メールアドレス、FAXなどの連絡先（ハガキ申込の場合は住所を明記） ⑥参加人数（グループ参加は2名まで。氏名は代表者のみ）

申し込み期間

●4月30日、5月12日の回は、4月8日(土)から4月14日(金)まで

●5月20日、5月28日の回は、4月29日(土)から5月5日(金)まで

※募集締切後に抽選を行い、3日以内を目途に、参加者に当選通知をお送りします。（抽選にもれた方への通知はいたしません）

問い合わせ先

目黒区美術館 建築ガイドツアー担当

電話：03-3714-1201（代表） 電話：03-3711-9558（内容についてはこちらへ）

メール：mmat-event@mmat.jp <https://www.mmat.jp>

目黒区総合庁舎 建築ガイドツアー

（旧千代田生命本社ビル）

すぐれた建築には物語がある。思考と創造があり、謎がある。
村野藤吾の傑作をもっと深く知るための小さな旅

主催：（公財）目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
共催：目黒区

参加者募集

目黒区美術館

Meguro City Office Complex Guided Architecture Tour

村野藤吾建築ネットワーク 2023

村野藤吾(1899-1984)の建築は、上越・信越をはじめ、おもに関東から西日本にかけて多く分布しています。2015年に目黒区美術館で開催された「村野藤吾の建築—模型が語る豊饒な世界」展(京都市芸繊維大学美術工芸資料館、村野藤吾の設計研究会との共同企画)をきっかけに、各地にある村野建築の中で、建築ガイドツアーやさまざまな催事を行っている施設・団体等が集い、ゆるやかにつながるネットワークが生まれました。2023年は、新潟県糸魚川市の谷村美術館が40周年を迎えます。今年は9件の村野建築の情報をご紹介します。

*施設名の()は、竣工当時の名称・竣工年です。◎印は催事等の主催者です。

1 尼崎市立大庄南生涯学習プラザ (大庄村役場・1937年) 兵庫県尼崎市

村野藤吾初めての庁舎建築(登録有形文化財)。非対称の外観、旧約聖書に由来する装飾、手すりが弧を描く階段などが見どころ。2022年、耐震補強工事を経てリニューアルオープン。同市にはもう一つの村野建築、尼崎市庁舎(1962年)がある。尼崎市立歴史博物館は、尼崎市大庄地域課と、村野建築に関する催事を企画。

[建築ガイドツアー]
6月17日⑤に開催予定



◎尼崎市立歴史博物館
https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/bunkazai_0/index.html

2 宇部市渡辺翁記念会館 (宇部市民館・1937年) 山口県宇部市 <https://wmh.ube-bunzai.jp/>

戦前の代表作で、何回かの改修工事を経、2005年国の重要文化財に指定された。市内には、隣接の宇部市文化会館(1979年)のほか、宇部窒素工業事業所(1942年/現・宇部興産宇部ケミカル工場本事務所)、宇部銀行(1939年/現・旧宇部銀行館)など村野建築が数多く残る。村野建築に関する催事は、山口近代建築研究会等の主催で随時企画。

今年は建築ガイドツアーの予定はありません



◎山口近代建築研究会
<http://yamakinken.site/>

3 日本橋高島屋増築 (日本生命館/高島屋東京店増築・1952~65年) 東京都中央区

元は昭和初期に建てられた高橋貞太郎設計の日本生命・高島屋の建物。正面はこの建築様式を尊重し、1952年より村野により増築が行われた。旧館部分と増築部分の融合と対比が見どころ。2009年、百貨店建築として初の重要文化財に指定。高島屋史料館TOKYOは、2019年より、日本橋地域の文化発信拠点として企画展や各種講座を開催。

◎高島屋史料館TOKYO
<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/tokyo/>



4 関西大学 (1955~1980年) 大阪府吹田市 <https://www.kansai-u.ac.jp/>

1922年に大阪市内から移転しマスタープランなく拡張する千里山の校地に、村野は1949年から1980年に約40の学舎を設計。現在も約半分の建物が残る。その一つ、大学博物館は、1955年に村野によって増築された旧図書館(大阪府指定文化財)。同博物館のFacebookでは、動画「関西大学村野建築ガイド」などで村野建築を紹介。

[建築ガイドツアー]
4月2日⑧



◎関西大学博物館
<https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>

5 カトリック宝塚教会(1965年) 宝塚市庁舎(1980年) 兵庫県宝塚市 (教会) <http://www.takarazuka.org> (庁舎) <https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/>

村野が戦前から居を構えた宝塚市内には、宝塚ゴルフ倶楽部クラブハウス、カトリック宝塚教会、宝塚市庁舎の建築が現存。魅力的な曲線のカトリック宝塚教会は白鯨にもたとえられ、木がうねるような天井の内部空間が、訪れた人を優しく包み込む。2019年から「宝塚まち遊び委員会」は、カトリック宝塚教会と宝塚市役所の建築ガイドツアーを開催。

カトリック宝塚教会



[建築ガイドツアー]
秋頃に開催予定
◎一般社団法人
宝塚まち遊び委員会
<https://www.machiasobi.net/>

6 目黒区総合庁舎 (千代田生命本社ビル・1966年) 東京都目黒区 <https://www.city.meguro.tokyo.jp>

戦後の村野の代表作、千代田生命保険相互会社の本社ビルだった建物で、2003年に目黒区総合庁舎として開庁。その際、目黒区は建築の文化的価値を尊重しながら用途変更の改修工事を行い、村野の意匠の重要な部分は今も当時の姿をとどめている。目黒区美術館は、2004年から毎年春に建築ガイドツアーを行っている。

[建築ガイドツアー]
4月30日⑧、5月12日⑧
5月20日⑤、5月28日⑧
要申込



◎目黒区美術館
<https://www.mmat.jp>

7 八ヶ岳美術館・原村歴史民俗資料館 (八ヶ岳美術館・1979年) 長野県諏訪郡原村

山脈や連峰を思わせるドーム屋根が連なるこの美術館は、村野最晩年の作品。原村出身の彫刻家・清水多嘉示の絵画・彫刻、村内出土の縄文土器を展示。彫刻のためのドーム状空間と絵画などの平面用の直線壁が組み合わせられた形状が独特。天井から絞り吊りされたレースのカーテンは照明を柔らげ、落ち着いた雰囲気をつくっている。

[講演会]
8月5日⑤ 13:30~
講師:窪寺弘行
(公益社団法人 長野県建築士会 副会長)



◎八ヶ岳美術館
・原村歴史民俗資料館
<https://yatsubi.com/>

8 玉翠園・谷村美術館 (谷村美術館・1983年) 新潟県糸魚川市

田園地帯の一角に建てられた、彫刻家・澤田政廣の作品を展示する、村野最晩年の私設美術館。今年開館40周年を迎える。木造回廊に囲まれた前庭と、粗い質感の壁による抽象的な外観の対比が見事で、シルクロードの砂漠の遺跡をイメージして設計されたという。内部空間は、6つの展示室が有機的につながっている。

[展覧会]
開館40周年記念パネル展
5月26日⑤~9月24日⑧



◎玉翠園・谷村美術館
<http://gyokusuien.jp/>

9 展覧会のご案内 「村野藤吾と長谷川堯 —その交友と対話の軌跡」展

村野藤吾研究の第一人者・長谷川堯(1937~2019)と村野の交友を、長谷川が撮影した膨大なスライド〔眼差し〕と長谷川の村野論〔言葉〕から読み解き構成し、建築評論家・長谷川堯の成し遂げた仕事を振り返る。

3月22日⑥~6月10日⑤
京都市芸繊維大学美術工芸資料館

<https://www.museum.kit.ac.jp/>
[開] 10:00~17:00(入館は16:30まで)
[休] 日・祝日

※村野建築の情報は、竣工年順に、所在地・URL | 紹介文 | 催事等の主催者情報(施設情報または関連団体情報)の順で掲載。※ここで紹介する催事等は、施設の主催で行う場合と、関係団体等が主催となつて行う場合があります。また、状況によって催事の予定、申込方法など変更する場合がありますので、詳細についてはそれぞれの主催者にお問い合わせください。

[全体の問い合わせ先] 目黒区美術館 村野藤吾建築ネットワーク担当

[電話] 03-3711-9558(学芸係) [メール] mmat-event@mmat.jp

目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36
<https://www.mmat.jp>

協力: MURANO Design、&4+do